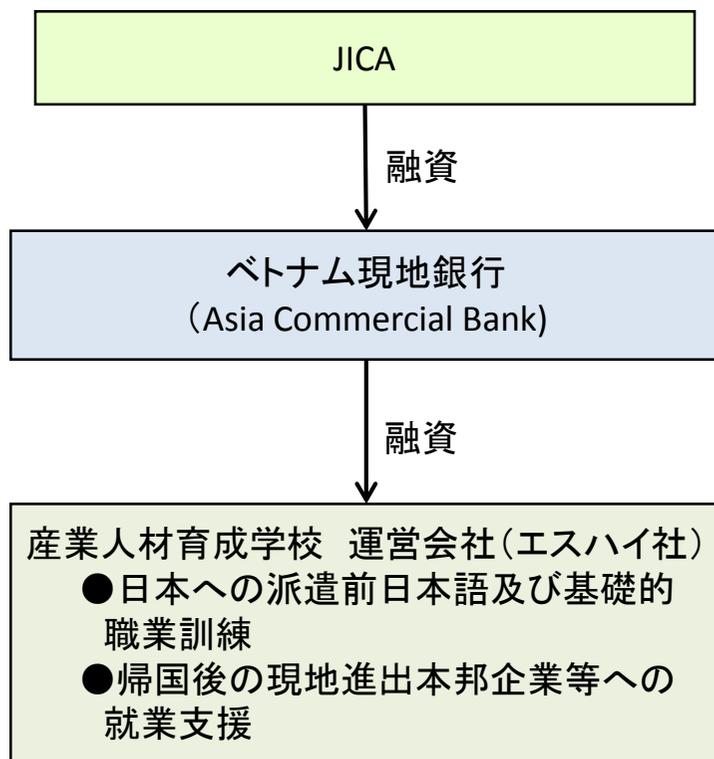


1. ベトナム産業人材育成事業

【事業概要】

●ベトナム、ホーチミン市西部において、本邦向け技能研究生・技術者の日本への派遣前基礎的職業訓練、帰国後の現地進出本邦企業等への就業支援を行う事業への支援。海外投融資資金は、職業訓練の需要の増加等に対するための校舎建設等に充てられる。

●融資額:1.9億円



【事業の意義】

1. 日本の技術・ノウハウによる開発支援

●日本への派遣前研修により、技能研修性・技術者が日本滞在期間中に日本の技能を十分習得することを可能とし、これにより、日本の技術・経験を得たベトナムにおける産業人材の一層の拡充及び質の向上に貢献。

●ベトナムにおける産業人材育成の一つのビジネスモデルとなり、現地企業による日本型産業人材の育成の拡充が期待される。

2. 日本企業の海外展開促進への貢献

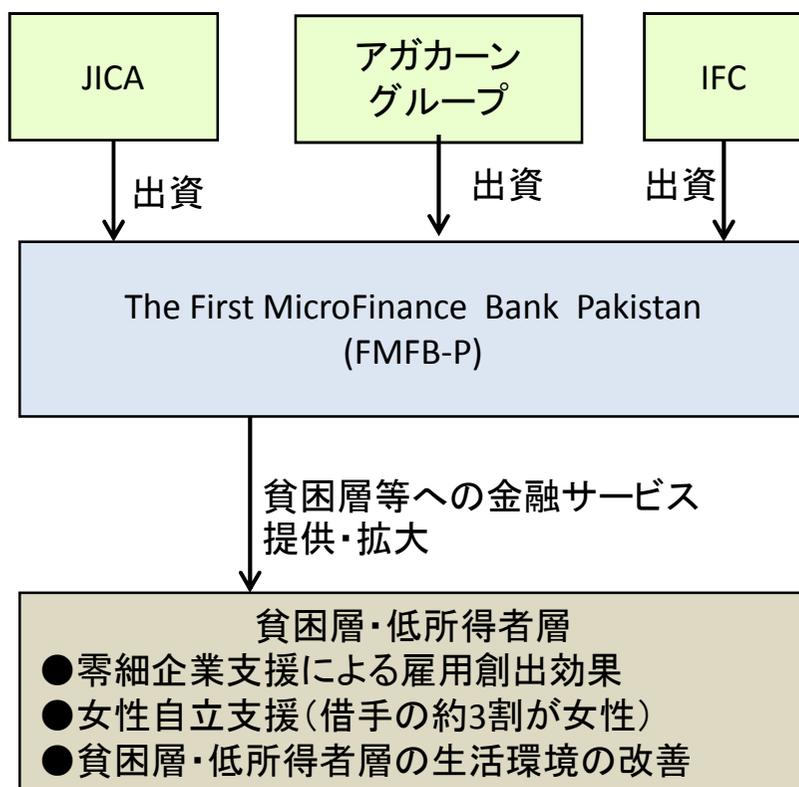
●日本での実習を終えて帰国したベトナム人を、現地に進出する日系企業に紹介することにより、中小企業をはじめとする日本企業の海外展開促進に貢献することが期待される。

2. パキスタン 貧困層向けマイクロファイナンス事業

【事業概要】

●パキスタンのマイクロファイナンス銀行である、The First Microfinance Bank Pakistan (FMFB-P) に対して、その業務拡大に応じた経営・財政基盤の安定化への支援を行うもの。

●出資額:2.2億円



【事業の意義】

1. 貧困層等の金融アクセス改善による貧困削減

● 貧困層及び低所得者に対する貸出・預金等の金融サービスの拡大を通じて、生活環境改善や雇用創出を図り、貧困層の自立・貧困削減に貢献。

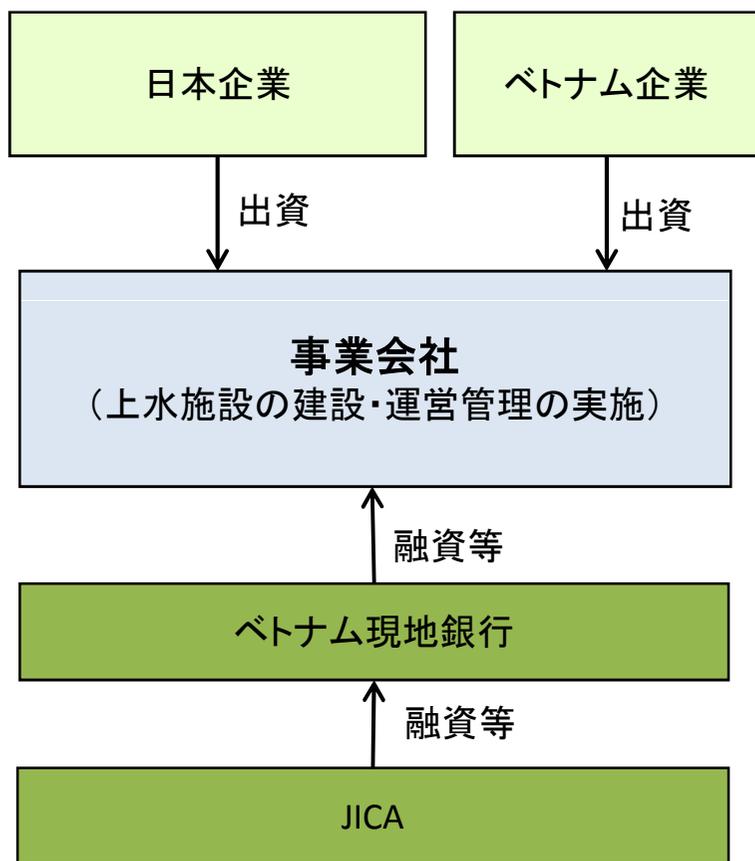
2. 貧困削減を支援するNGO及びドナーとの連携

● マイクロファイナンス事業を13か国で展開、地方開発プログラムの実施等により、貧困層の自立を支援しているアガカングループ、世界銀行グループの国際金融公社(IFC)との共同出資・連携による支援の実施。

3. ハノイ上水道整備事業(ベトナム)

【事業概要】

●ベトナム、ハノイ市において、同市への上水供給を行うため日越両国の企業が合弁で事業会社を設立、浄水施設を建設し、運営管理を行うもの。



【事業の意義】

1. ハノイ市の急増する水需要への対応

●ハノイ市では、水需要がひっ迫しているほか、過剰な地下水利用による地盤沈下等の問題が起こっていることから、表流水利用による上水整備が重要な課題となっており、本事業はこれらの課題に対処し、ベトナムの貧困層の生活環境改善・経済発展に寄与するもの。

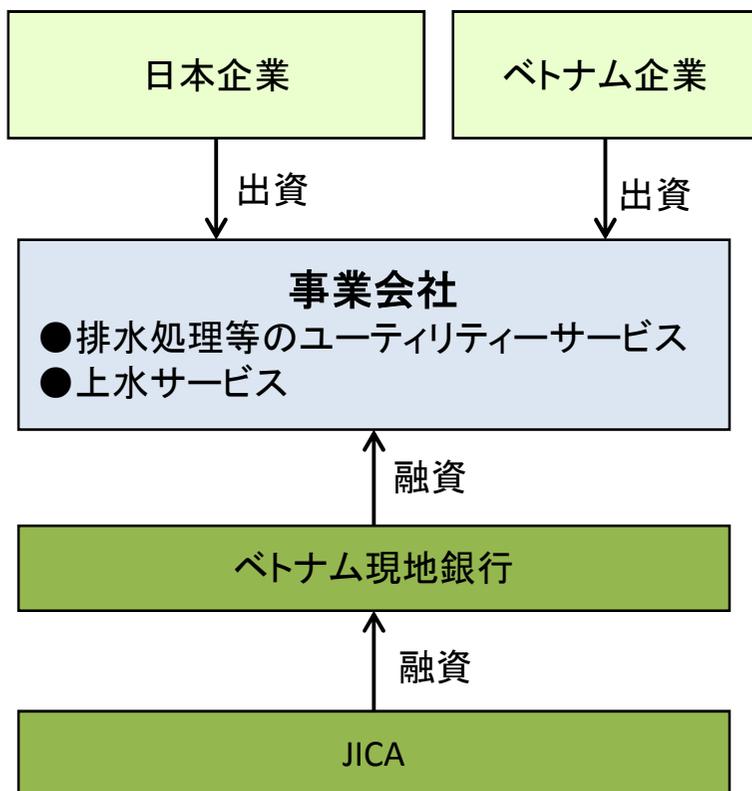
2. 我が国の途上国における初めての本格的な大型上水事業

●本事業は、本邦企業が開発途上国において建設から運営維持管理までを実施する初めての本格的な大型上水道事業。
●我が国の地方自治体による支援も検討されている。

4. ロンアン省環境配慮型工業団地関連事業(ベトナム)

【事業概要】

●ベトナム、ホーチミン市西部に隣接するロンアン省において、産業発展及び環境保全の両立を目的として、日越両国の企業が合併で事業会社を設立、工業団地向け排水処理施設等のユーティリティサービス、表流水(河川)を利用した上水施設の建設及び運営を行うもの。



【事業の意義】

1. 日本の技術・ノウハウによる開発支援

- ベトナムでは、工場からの排水による公害問題が深刻化。また、工業団地が集積している地域における地下水の過剰取水から地盤沈下が発生。
- 日本企業の信頼ある技術による排水処理と、河川水を利用した水供給により、環境に配慮した持続的産業発展に貢献。
- 我が国の地方自治体による支援も検討されている。

2. 本邦中小企業の誘致促進による産業発展への貢献

- ロンアン省は、日本の中小企業誘致により、その技術移転等による経済発展を目指しており、対象となる工業団地も、JICAとの協議を通じて、日本の中小企業の誘致促進のための貸工場及びサービスを準備・検討。
- JICAとして、日本の中小企業誘致促進のための支援も併せて実施することを検討。